
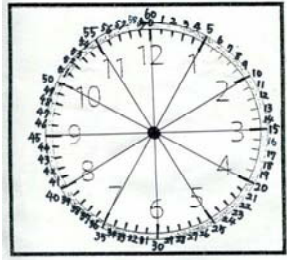


教材教具名 時刻練習プリント	教科 (数学)	
----------------	-----------	--

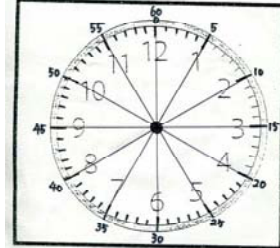
教材教具写真



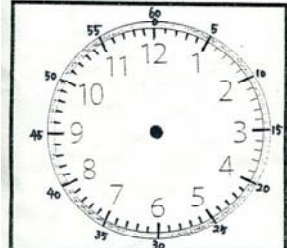
1段階



2段階



3段階



4段階

教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- 1 ねらい
 - アナログ式の時計で時刻を読むことができる。
- 2 発達段階など
 - 短い、長いが理解できる。
 - 1～60までの数字が分かる。
- 3 使い方
 - 最初は1段階の問題 (B5の用紙に2問程度の量) から始める。慣れてきたら問題量を増やす。
 - 次に2段階の問題 (B5の用紙に2問程度の量) をする。慣れてきたら問題量を増やす。
 -

というように、生徒の理解と実態に応じて段階と問題量を調整しながら課題のレベル上げていく。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)

最初は1段階の時も教師の言葉がけがないと時刻を読むことができなかったが、問題を繰り返すたびに一人でも読むことができるようになった。2段階のプリントは、生徒の実態に応じて1～12までの数字を書いておいてもよい。少しずつレベルを上げながら、手がかりを減らしていくことがポイント。6月ぐらいから取り組んで、現在では4段階目のプリントで時刻を読むことができるようになった。